Yarn 夜話

重し

白川 淳敬（本願寺派スカウト指導者会副理事長）

川の上流に行くとイワナやヤマメという魚たちがいます。この魚たちは大雨が降って川が増水して荒れそうになると、自分で川底の石や砂を飲み込むという話を聞いたことがあります。

なぜこんな事をするのだろうと思いました。理由は、石や砂を飲み込んでおけばそれが「重し」になって、増水して川が荒れても流されていかないからだそうです。専門家の方によると魚たちが石を飲むという本当の理由はわからないそうですが、私はなるほどなと思いました。

「重し」。私は毎日の生活で何か重しを持っているのかなと思いました。

私たちの毎日は、楽しそうなこと、おもしろそうなこと、心地よいことばかりが目に入ります。危ないことをしてみたくなったり、いたずらをしたくなったりもします。みんなやってみたい事ばかりです。

でも、したいまま、欲望のままに行動しませんよね。こんな事をしたらお父さんお母さんが悲しむかもしれない、隊長やリーダーに叱られるかもしれない、こんないたずらしたらお友達が悲しむかもしれないと思いませんか？

こうやって私たちの考えやこころをなおしてくれるのが「重し」です。

皆さんはどんな「重し」を持っていますか？

国の法律、学校の規則、スカウトのやくそく、ちかい・おきて、お父さんお母さんとのやくそく、いろんな「重し」がありますね。みんな大切なものばかりです。

私たち浄土真宗の仏教スカウトはもっと大切にしなければならない「重し」があります。それは阿弥陀（あみだ）さまの教えです。

阿弥陀（あみだ）さまは私たちに人生というのはこう考えた方がいいよ、こう生きた方がいいよと親切に教えてくださっています。こんな事をしたら阿弥陀（あみだ）さまはどう思われるかな？と立ち止まって考えてみること、これが大切なことです。

阿弥陀（あみだ）さまは私のことを見ていてくださいます。知っていてくださいます。一緒にいてくださいます。大切にしてくださいます。私たちの毎日には阿弥陀（あみだ）さまがいらっしゃいます。

編集後記

昨年は大変な災害が各地で重なり、日本中が、いや世界中が東北を向き、南紀に注意を払いました。こんなことは無いに越したことはないのですが、災害は人間の考えることにソッポをむき、人間の想定を無残にも打ち崩すのでした。

そのようななかで、スカウトにとって大きな行事がありました。一昨年の「日本ジャンボリー」に次いで、2011年度は、親鸞聖人750回大遠忌とそれを記念する「親鸞聖人750回大遠忌法要記念　第6回本願寺派スカウトキャンポリー inあいばの」でありました。

これらのことは本誌本文でご覧いただくとして、本願寺における大遠忌法要も今年の1月でご満座をお迎えいたしました。さぁ次は2013年の日本ジャンボリーに向けた準備に入るといたしましょうか。それとも、この機会によく開かれる県連単位、地区単位の大会に参加しましょうか。

さて、今回スカウトニュース復刊3号とキャンポリー記念誌が発行されます。胸を張って本派指導者会の機関紙となれるよう頑張ってまいります。

加藤 隆

【発行日】
2012(平成24)年3月20日

【発　行】
浄土真宗本願寺派スカウト指導者会
京都市下京区堀川通花屋町下ル
本願寺宗務総合庁舎 組織教化部内
電話:075-371-5181
FAX:075-351-1211
HP:http://scout.hongwanji.or.jp/

復刊第3号

SCOUT NEWS

2011(平成23)年度 主な行事一覧

7月30日(土)～8月2日(火)	親鸞聖人750回大遠忌法要記念　第6回本願寺派スカウトキャンポリー inあいばの
1月25日(水)	評議員会
2月25日(土)・26日(日)	第19回仏教ガールスカウト研修会・第7回仏教スカウト指導者研修会
3月28日(水)～31日(土)	第6回仏教章修得のための研修会
3月29日(木)～31日(土)	第52回本願寺派スカウト中央研修会

第19回仏教ガールスカウト研修会 第7回仏教スカウト指導者研修会　報告

内野 悦子 (スカウト指導者会 研修委員)

2012(平成24)年2月25日･26日の一泊研修を担当宗派として、京都･本願寺聞法会館にて開催した。

基調講演では、｢寄りそう心とスカウティング｣をテーマに、現代社会における人材育成の課題等について、ボーイスカウト日本連盟理事長　奥島孝康先生よりお話をいただいた。

講演の中で、スカウト運動では、｢役割分担｣｢パトロールシステム｣｢キャンプ｣など、指示に従いながら自発的･自主的に考え行動することを目指す。それは、さまざまな“痛い目”にあうことができ、その経験により、他人の痛みが分かり、互いに助けあい、工夫し、生きる力が育まれることを挙げられ、今、社会ではこのような育成の機会が必要ではないかと提言された。

その後、ガールスカウトは、日本連盟副事務長　片岡麻里先生の講義を受講し、ガールスカウト運動の理念･社会におけるガールスカウト運動の意義･指導者自身の自己研修を受け、仏教章を胸につける意義も再確認した。

また、ボーイスカウトは｢救命救急｣､｢被災に寄り添う｣のワークショップに参加した。｢結索実習｣､｢革細工｣では参加者全員が楽しんで作りあげ、良い参加記念となった。

また、夕食懇親会は各宗派の紹介、各テーブルの歌やスタンツで楽しく過ごした。

2日目は晨朝参拝に始まり阿弥陀堂前で記念撮影を行う。

最後の講義｢いのちのふるさとを歌う｣では、シンガーソングライターでご住職のやなせなな先生より、ご自身の大きな手術を受ける不安や手術後の落ち込み等をお話いただいた。

｢いつも見守って下さる仏さまがいて、私には大好きな歌がある。今私にできることをしよう｣との思いで、東北に向けて、歌と仏さまのお心を届ける活動をされている話には心を打たれた。そして、最後に参加者全員で｢ふるさと｣を歌い終わった。

この研修で改めてB.Pの｢ボーイスカウト訓練法は信仰心を育み自己本位の観念の代わりに社会奉仕の観念をうえ、精神も身体も共に公に奉じ得るよう各人の能力を鍛えるのである。…人類同胞に対する奉仕の観念を育成するものである｣を深く心に刻めたと思う。

第6回仏教章修得のための研修会・第52回本願寺派スカウト中央研修会

東森 文昭 (研修委員長)

第6回仏教章修得のための研修会　平成24年3月28日(水)～31日(土)

本研修会は、本願寺派スカウト指導者会のスローガン｢仏教章を胸に｣を体して、研修を通じて仏教章修得に必要な知識･技能などを身につけると共に、真宗スカウトとしての自覚を促すことを目的としています。

また、この機に友の輪を広げ、お互いの生き方を確かめ合い｢ちかいとおきて｣｢やくそくとおきて｣の理解と実践をより深め、心身共に豊かな聞法者を育成することを目的として開設しています。

今回は26名(中学2年～大学2年までのボーイスカウト25名･ガールスカウト1名)の参加がありました。主な内容は、仏教章･仏旗･宗派の教章、礼拝作法、勤式作法、仏教讃歌、仏教教義、釈尊伝記、真宗教義、宗祖伝記、ちかいとおきて、スカウツオウン、仏教行事等の講義や実習で、基礎基本の学びでした。

スカウトは、晨朝参拝に始まり、学習とSTAの課題、そして就寝勤行とハードな日程でしたが、真剣に取り組んでいました。この後、残された課題に挑戦して、めでたく仏教章を胸にし、研修会の趣旨を全うしてくれるよう杉本光俊所長をはじめ指導に当たった講師･スタッフ一同期待しています。

第52回 中央研修会　平成24年3月29日(木)～31日(土)

本研修会は、｢仏教章｣を修得した者を対象として、本願寺派スカウトとしてさらなる自覚を促し、研修会を通じて友の輪を広げ、お互いの生き方を確かめ合い｢ちかいとおきて｣｢やくそくとおきて｣の理解と実践をより深め、心身共に豊かな聞法者を育成することを目的として開設しています。

今回の参加スカウトは10名(ボーイスカウト9名､ガールスカウト1名)中学校1年生～高校3年生の構成でした。第1日目は、真宗教義と｢ちかいとおきて｣の講義、そして常例布教の聴聞、2日目は、比叡山をたずね、親鸞聖人の修行の足跡と食事作法を学びました。

また、スペアタイムアクティビティとして『座標読み地図作業』､『ダイヤモンドノット』､『中央研修記念の念珠作り』を行い、そして、これから原隊に帰って行うことを決め、みんなの前で宣言をしました。

最後に、緊張のなかに総裁さまより仏教章を授与いただき、閉会式では西田弘展所長から激励と期待の言葉があり、スカウトも気持ちを新たにしたようです。

親鸞聖人750回大遠忌法要記念
第6回本願寺派スカウトキャンポリー inあいばの

西田 弘展（庶務部部長）

親鸞聖人750回大遠忌の事業として、キャンポリーという形で本来の開催年より一年早く開催されることとなった。

年が明け、3月11日、千年に一度という大きな地震が東日本を襲った。巨大な津波が東日本太平洋岸を襲い、地形が変わるほどの崩壊という被害を受け多くの命が失われた。そのうえ、原子力発電所の制御機能が失われ、その結果、放射能が広い地域を汚染することとなった。

そのような状況のなかで大会の開催の是非が、今までの経緯、現在の状況、これからの展開、それぞれの立場で論議された。目の当たりの縁を大切に受容し未来を生きようということで実施が決定された。予定よりかなり遅れた具体的な準備であった。茫然自失の状況であり、キャンポリーのエネルギーを被災地支援に使いたいというスカウト自身の意思決定で参加を取りやめる団もあった。

そのような気持ちを受けてプログラム部会も被災地を元気づける内容のものが組み入れられ、ガールスカウトのプログラムも被災地の方々の思いを共有できる内容のものが準備された。

7月30日、御影堂での親鸞聖人750回大遠忌法要<少年対象>参拝、阿弥陀堂での開会式。野営場受け入れスタッフは現地で準備、午後よりスカウトが続々と入場してきた。そして、設営の音に包まれ、業務が開始された。

水の確保、会場内生活サイトの地形図確保、参加人数、参加団の規模による生活サイトの割り出し、必要生活水、水関係施設借用の可否、各部·各団の食料試算、カロリー計算、適正な供給業者の選択、緊急避難施設の収容量試算、避難誘導方法、ごみの量の試算、ごみ箱の位置、水場の位置、配置数、ごみ処理対策の参加団への協力のお願い方法、会場内の他の訓練との競合の調整、各部の分掌についての確認、スタッフの生活サイトレイアウト、日常の業務、および特別業務、緊急時対策方策について、現場での自衛隊と本部事務局との窓口の確認など、準備は走りながら調整という遅れ気味で開始を迎えた。

大会は、準備の日からほとんど毎日一回の大雨に見舞われた。夕方になると雨が降る。しかも多量に降る。バケツをひっくり返したような雨だ。大きな水たまりを残して終わる。降っている時には、話も聞こえない。天気予報もこんな雨とは伝えない。

夜半、無線がはいる。医療部より「避難したいと言っている、だれかいないか」。輸送部が回答、「今から出ます」。

生活サイトは、芝生であったが水はけが悪くテントの構造、地面の高低により参加団の生活を二分した。溝は掘れない状況、スカウトのテントは水浸し、スカウトは、濡れてもぐっすり寝息を立てている。たたき起こして最低限の荷物をもたせて雨の中、急遽自衛隊宿舎に移動。雨のおかげで宗教礼拝は時間変更、夕方に開催となった。

本部もこのような状況のもとでキャンポリーが大きな事故もなく終了できたのは参加隊の協力があったからであると感謝しなければならない。反省会、記録の作成までを含めた終わりまでの長期計画の立案を部門毎に明確にして、開催の最中には既に次のことを考えて準備ができる実施案でなければならない。実施の最中には既に終了ができていると いった次第である。

いろいろな条件が重なりいろいろな人の縁をいただいたことに対して感謝申しあげる次第である。

親鸞聖人750回大遠忌法要記念 第6回本願寺派スカウトキャンポリー inあいばの
『GSのつどい』被災地スカウトの現状

沖井 智子

「やっぱり、スタッフは降りよう」。

そう決めたのは、新幹線がいつ動き出すのか皆目見当もつかない頃でした。

本山では、着々と準備が進んでいたのでしょう。新幹線が動き出したころ、GS委員会がありキャンポリーのなかの「GSのつどい」のプログラムを見直すことになりました。このまま、いつもの楽しいだけのプログラムでいいのだろうか?何かをしなくては。親鸞聖人750回大遠忌法要記念のキャンポリーでもあるし。

「このキャンポリーで、被災地の様子を伝えよう!知ってもらおう!この大きな震災で何が起こったのか?どんな状況で過ごしているのか?そして、相手の立場にたって私たちは考え、動く事が出来るのか?私たちのできる事はなんだろう?参加するスカウトたちにしっかりと、考え受け止めてもらおう」ということになったのです。

みんなで、手分けして被災状況の資料をそろえ、被災地クイズを用意しました。スカウトたちは、みな真剣に被災地のことに目を向け、耳を傾けてくれました。涙を流しながら聞いていたスカウトもいます。

「支援ウサギ」を作り、一つ一つにメッセージをつけてくれました。そのウサギは、後日『みなみそうま追悼復興事業』のイベントで、被災者の方々に配られました。本派スカウトたちの、やさしい心は十分に被災地に伝わったようです。そして、その心を持って自団に帰り活動してくれることを願って、福島から「GSのつどい」にだけ参加した私たちリーダーは帰路につきました。

仏教章を胸に

●2010(平成22)年度 ボーイスカウト

NO.	都道府県連盟	所属団	隊	名前
1	東京	中央6	VS	饗場 孝則
2	東京	中央6	VS	島津 大介
3	東京	中央10	VS	渡部 弘樹
4	東京	新宿17	VS	宮本 啓吾
5	東京	江戸川5	VS	榎本 開
6	富山県	高岡28	VS	佐竹 竜輔
7	岐阜	岐阜17	BS	小澤 ゆかり
8	岐阜	岐阜8	VS	後藤 大智
9	岐阜	関1	VS	勝野 拳矢
10	岐阜	高山2	VS	荻野 貴裕
11	京都	京都50	VS	田中 優
12	奈良県	高市1	VS	吉田 直樹
13	大阪	大阪1	VS	寺本 佳弘
14	大阪	大阪1	VS	森本 雄樹
15	大阪	大阪92	BS	宮島 雄太
16	大阪	門真1	VS	蝼川内 大
17	大阪	東大阪5	VS	森 成弘
18	大阪	東大阪5	VS	板倉 悠貴
19	大阪	大阪72	VS	石原 知明
20	大阪	豊中5	VS	野村 一樹
21	大阪	高槻1	VS	伊藤 愛莉
22	和歌山	和歌山18	VS	山東 駿
23	和歌山	和歌山2	VS	福田 雄一朗
24	和歌山	海草1	VS	一松 祐貴
25	兵庫	宍粟1	VS	坂元 克彰
26	兵庫	宍粟3	VS	冨田 真生
27	兵庫	尼崎17	VS	三宅 裕介
28	山口県	下関11	VS	植田 陽香
29	福岡	福岡32	VS	柴藤 勝真
30	福岡	福岡32	VS	安河 慧
31	福岡	福岡32	VS	菊池 玲花
32	福岡	福岡32	VS	菊池 康嗣
33	福岡	福岡35	VS	竹下 登志輝
34	福岡	福岡35	RS	豊島 諭
35	福岡	福岡35	RS	大庭 康平
36	福岡	福岡35	RS	酒井 健旨
37	福岡	福岡18	VS	小林 裕貴
38	福岡	福岡35	VS	植田 涼
39	熊本県	球磨1	VS	小谷 将裕
40	宮崎	宮崎4	VS	川口 慧
41	宮崎	宮崎4	VS	三原 佑真
42	宮崎	宮崎4	VS	矢野 稜太郎

●2010(平成22)年度 ガールスカウト

NO.	都道府県連盟	所属団	隊	名前
1	茨城県	28	Rn	板橋 優女

●2011(平成23)年度 ボーイスカウト

NO.	都道府県連盟	所属団	隊	名前
1	茨城県	つくば1	BS	山本 麻愛
2	茨城県	つくば1	VS	鈴木 智仁
3	千葉県	浦安2	VS	辻 裕美
4	千葉県	柏4	VS	中森 浩樹
5	神奈川	横浜79	VS	山本 明博
6	東京	中央10	VS	宇治 恒
7	東京	小平4	VS	鵜飼 涼太
8	東京	小平4	VS	伊藤 篤志
9	東京	小平4	VS	藤山 朋樹
10	東京	小平4	VS	秦 啓
11	東京	清瀬3	VS	高木 勇輔
12	東京	江東3	VS	風間 涼
13	東京	大田4	VS	野村 豊
14	東京	町田6	VS	圓城 一志
15	福井	福井7	VS	荒井 一臣
16	岐阜	揖斐1	VS	野村 真法
17	岐阜	岐阜17	BS	花村 彪太
18	岐阜	岐阜17	BS	若山 藍子
19	岐阜	岐阜17	BS	蓑 沙歩
20	静岡県	裾野4	VS	杉本 憲昭
21	静岡県	裾野4	VS	東 宗次郎
22	静岡県	裾野4	VS	中野 将希
23	京都	京都23	VS	福田 愛実
24	兵庫	神戸54	VS	角 亮一郎
25	和歌山	海南1	VS	大岡 和真
26	大阪	枚方9	VS	今枝 拓也
27	大阪	枚方16	VS	安達 太郎
28	大阪	高槻1	VS	金原 泰
29	大阪	高槻5	VS	中山 真魚
30	大阪	高槻5	VS	岸本 俊泰
31	大阪	池田5	VS	酒井 佐久馬
32	大阪	池田5	VS	田中 研司
33	大阪	池田5	VS	廣谷 遼
34	大阪	池田5	VS	松澤 亮太
35	大阪	豊中5	VS	川北 航平
36	大阪	豊中5	VS	佐竹 俊彦
37	大阪	八尾8	VS	村上 未帆
38	大阪	大阪21	VS	由良 捺美
39	大阪	大阪72	VS	石原 寛隆
40	大阪	吹田2	VS	宮内 理菜
41	大阪	吹田2	VS	奥田 直人
42	大阪	吹田2	VS	小寺 翼
43	大阪	吹田9	BS	羽田 彩人
44	大阪	吹田9	VS	羽田 章人
45	兵庫	西宮2	VS	嶋田 健太
46	広島県	安佐6	VS	永井 貴也
47	広島県	広島27	VS	寺道 紘毅
48	福岡県	福岡16	VS	久保田 浩介
49	福岡県	福岡16	VS	藤坂 奈央
50	福岡県	福岡16	VS	守田 真理愛
51	福岡県	福岡33	VS	軸薗 聖矢
52	福岡県	福岡42	VS	阿部 桃子
53	福岡	福岡21	VS	長野 慶太郎
54	福岡	福岡21	VS	山本 貴洋
55	福岡	福岡32	VS	津田 祥太郎
56	大分県	中津8	BS	川添 かがり
57	大分県	中津8	BS	稲垣 佳那子
58	大分県	中津8	BS	砂山 昂大
59	大分県	中津8	BS	亀井 美里
60	大分県	中津8	BS	井上 範
61	大分県	中津8	BS	香田 直人
62	大分県	中津8	BS	中村 晃直
63	鹿児島	鹿児島2	VS	野元 璃久
64	鹿児島	薩摩12	BS	森園 隼也
65	鹿児島	薩摩12	BS	平木場 圭市

●2011(平成23)年度 ガールスカウト

NO.	支部	所属団	隊	名前
1	東京都	209	Rn	青木 楓
2	東京都	209	Rn	髙輪 萌子
3	福島県	3	Rn	石原 莉那

2012 平成24年度 活動計画

■2012(平成24)年度 活動方針並びに事業計画

スローガン

仏教章を胸に

活動方針

親鸞聖人750回大遠忌法要の円成を機縁に、豊かな聞法者を育成するためのスカウティングの充実と組織拡充に努める。

重点目標

1. 東日本復興支援活動の継続的展開
2. 聞法者の育成ーちかいとおきての実践を通してー
3. 組織の拡充
4. 教材資料の発行
5. 各教化団体との情報交換、全寺院「子どものつどい」 -キッズサンガ-への協力

本年度の目標

1. 東日本復興支援活動の実施
2. 第53回本願寺派スカウト中央研修会の参加奨励
3. 第7回仏教章修得のための研修会の参加奨励
4. 東西スカウト合同研修会の参加奨励
   (本願寺派スカウト指導者研修会を兼ねる)
   《2012(平成24)年9月29日・30日予定》
5. 仏教章修得者の倍増
6. 『「ちかい」と「おきて」の意味』の活用
7. 宗門関係学校へはたらきかけ、指導者を育成する

事業計画

組織拡充・広報委員会

❶組織拡充に関する研究調査
❷組織拡充に関する活動
❸『スカウトニューズ』の発行
❹ホームページの運営

教材委員会

❶仏教章の指導者及び教導職のためのマニュアルの作成と活用
❷『スカウトハンドブック』・『スカウト聖典』の活用
❸『スカウトハンドブック』の改訂
❹『「ちかい」と「おきて」の意味』の周知徹底

研修委員会

❶仏教章修得について
　(イ)仏教章研修会の充実
　(ロ)仏教章に対する啓発
　(ハ)仏教章修得者の掌握
❷本願寺派スカウト指導者研修会
　《東西スカウト合同研修会と兼ねて開催予定》
❸第7回仏教章修得のための研修会
　《2013(平成25)年3月28日(木)〜31日(日)予定》
　会場:本願寺
❹第53回本願寺派スカウト中央研修会
　《2013(平成25)年3月29日(金)〜31日(日)予定》
　会場:本願寺
❺東西スカウト合同研修会
　《2012(平成24)年9月29日(土)・30日(日)予定》
　会場:未定
❻研修スタッフ養成の実働(BS指導者講習会の実施)
❼教区スカウト指導者会、スカウトクラブ研修会への協力

ガールスカウト委員会

❶仏教章修得への働きかけ
❷本派スカウト指導者の育成
❸沙羅-sara trees-
　(本願寺派ガールスカウトヤングリーダー)の充実
❹各種行事、研修会への参加を単元取得につなげる

行事・国際委員会

❶具体的な東日本大震災復興支援活動の計画・実施
❷第16回日本ジャンボリー
　(16NJ:H25年度開催予定)準備
❸海外研修の検討